

9/16

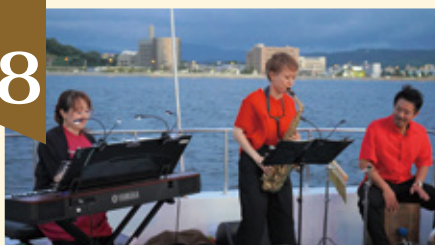
第13回バスまつり開催



「第13回バスまつり」が、くにびきメッセで開催され、親子連れなど約4,000人の来場者で賑わいました。会場では、こどもたちが少し緊張しながら、本物のバスのハンドルを握って運転手を体験しました。「バスと綱引き」では、大型バスをカー杯引っ張り、バスが動くたびに歓声があがり、楽しいイベントになりました。

9/28

はくちょう号から望む 秋の夕陽と生演奏♪



親子で松江の伝統文化や文化芸術を体験するイベント・教室を開催！
この日は、はくちょう号に乗って宍道湖の夕陽とOFF BEATさんによる生演奏の優雅なコラボレーションを体験。
親子で素敵な思い出ができたと大好評でした！

今後開催予定のイベント・教室は
右記 QR コードからご確認ください



※今月の当ページは、「市役所仕事体験プログラム」に参加した学生が作成しました。

松江市ホームページ



防災メールに登録しましょう。
QRコードを読み取って、
空メールを送ってください。



商標について：QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

市報

松江

目次

- 02 新庁舎みんなのトライアル
- 04 松江まちかどダイアリー
- 05 松江市長 上定昭仁の「上を向いていこう」／町目連だより
- 06 食べごろ松江／シリーズ松江の文化力×未来
- 07 松江の皆さんこんにちは。／マイルレポート
- 08 令和7年4月から市有施設（31施設）の使用料金が変わります
- 10 令和7年度 認可保育所・認定こども園・幼稚園などの入所・入園募集が始まります
- 11 地域おこし協力隊 新任隊員を紹介します／健康保険証の新規発行が終了します
- 12 11月は「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」期間です／11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です
- 13 令和5年度 ふるさとづくり寄附の活用事業報告
- 14 令和5年度の松江市の家計簿（決算）をお知らせします
- 19 原発立地に伴う交付金の使い道
- 20 子育て・健康・福祉
- 22 11月は「子宮頸がん予防啓発月間」／11月14日は「世界糖尿病デー」
- 23 情報ひろば
- 30 でかけてごしない～イベント情報～

松江市長 上定 昭仁の

上を向いていこう

Vol.40



「市役所新庁舎を思いっきり活用しています！」

昨年5月8日にオープンした市役所新庁舎「**だんだん(d)テラス**」を、多彩な目的で活用しています。目指すは「**平日も週末も賑わう市役所**」。市民のみなさんや旅行者のみなさんが立ち寄りたい魅力的な場所とするために、民間事業者のみなさんにアイデアとノウハウを提供していただいています。

「**新庁舎みんなのトライアル**」と題して、実証イベントをスタートしたのが昨年8月。それ以降今年9月末までに計**55団体**が**188件のイベントを企画**してくださいました。たとえば：朝市、マルシェ、フリーマーケット、コンサート、ゴスペルコーラス、ウクレレ教室、星空ヨガ教室、アイリッシュダンス教室、ラテンナイト（夜のサルサ教室）、高齢者スマホ講習会などなどです☆

なお、イベント開催後のアンケートによれば、イベントの内容や成果について、**主催者の98%、参加者の97%**が「満足」と答えてくださっています。

そして、**今年度からの新企画として、毎週水曜日の午前11時～午後1時に、市内各地の**



〈星空ヨガ教室〉



〈音楽イベント みんなでつくろう♪音楽のまち〉

飲食店や小売店が、だんだん(d)テラスに屋台を出店する「**すいすいマーケット**」を開催中です。パン屋、海鮮丼屋、カフェ、和菓子店、出雲民藝紙店などが週替わりに出店しています。**11月27日まで**毎週水曜日に開催しますので、ぜひお出かけください。

さらに、本誌2ページで紹介している通り、11月は毎週末だんだん(d)テラスほか新庁舎にて楽しいイベントを開催しています。みなさんのご来場をお待ちしています！

現在、**第2期棟の建設を進めています**が、**来年秋の一部供用開始、令和8年5月のグランドオープン**に向けて、市民のみなさんから愛される新庁舎となるよう、工夫を重ねてまいりますので、どうぞご期待ください！

町自連だより

「地域行事で繋がるまちづくり」

津田地区町内会連合会

会長 二村 眞

新型コロナが5類に移行になってから1年が過ぎ、津田地区ではコロナ禍前の行事をすべて再開することができました。

公民館を中心に地域の皆様をはじめ自治会連合会、体育協会、社会福祉協議会、小中学校、幼稚園など各種団体には多大なるお力添えをいただきました。

こどもたちが参加、体験できる「七夕まつり」「納涼会」「運動会」「とんど祭り」は地域の各世代が協力し、こどもたちの将来に夢を託す取り組みとして長く続けてきた行事です。幼少期のイベントやお祭りは地域の風景と共にこどもたちの心に深く刻まれます。そしてその記憶が故郷を思い、大切にすることを育みます。

一方で、大人たちは準備や片付けが大変で面倒くさくても、そこに参加することでお互いの顔が分かり絆も深まります。

津田地区はこどもからお年寄りまで、「津田に住んで良かった」「松江に住んで良かった」と思えるまちづくりを、地域行事を通じて楽しみながら続けていきたいと思っています。



〈七夕まつりの様子〉



食べごろ松江

vol.4



秋の味覚 西条柿・生柿とあんぽ柿

くまつえ旬もの食べてごせ



「秋の果物といえば何がありますか？」と聞かれたら、多くの人が「柿」を挙げるのではないのでしょうか。

本市では「西条柿」が多く生産されており、この柿は中国地方を中心に栽培されている渋柿の一種です。長年、地域で親しまれている西条柿は、毛利氏と尼子氏が中国地方の覇権争いをした戦国時代に、戦場での携帯食として珍重され、毛利氏が山陰を治めた頃に広く植えられたといわれています。市内には樹齢200年を超える古木が点在しており、推定樹齢500年の全国最大級の古木も見られます。実の形は縦に長く、側面に4本の溝があるのが特徴で、10月上旬から収穫が始まります。

西条柿は、そのままではとても渋くて食べられません。渋抜きの方法はいろいろありますが、ドライアイスを使った渋抜きが一般的です。「昔は、お風呂の残り湯に柿をつけて渋を抜いたものだよ」といったお話もあります。



〈生柿〉

〈あんぽ柿〉

抜き後、常温なら2〜3日で柔らかくなってしまうますが、渋を抜いた直後は、適度に歯ごたえがあり、爽やかな甘みを、また、少し柔らかくなっているから、とりとした濃厚な甘みを楽しめます。柔らかくなりすぎてしまったら、ラップなどで包んで、冷凍してシャーベットのようにして食べてもおいしいです。

市内では西条柿を使った「あんぽ柿」も作られています。あんぽ柿は、柿の皮を剥いて水分が30%程度になるまで乾燥させたもので、干し柿の一種です。水分が多く、瑞々しさを感じるゼリー状の柔らかい口当たりと鮮やかなオレンジ色の果肉が特徴です。そして、西条柿の干し柿ならではの、濃縮した甘みは格別です。生柿は概ね10〜11月に販売されます。また、あんぽ柿は11月中旬から販売が開始されます。

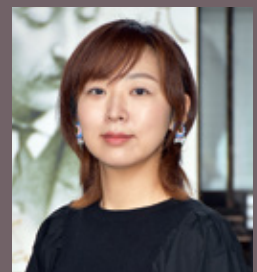
秋が深まる今の季節、里山の紅葉や夕日を眺めながら、西条柿を味わいませんか。

【この記事に関する問い合わせ】 農政課 ☎ 55-5232 【生柿・あんぽ柿販売に関する問い合わせ】 JAしまねくにびき地区本部園芸特産課 ☎ 55-3033

シリーズ「松江の文化力×未来」

松江の文化力の次世代を担う人を紹介します！

Vol.17



かどわき みかこ
門脇 実花子

鳥取県米子市出身・松江市内在住。
6年4月から小泉八雲記念館の学芸員として勤務。小泉八雲に関する調査・研究や情報発信など幅広く業務を担当している。

私は、大学で民俗学を専攻していました。卒業後は民俗学をさらに学ぶという選択肢もありましたが、好きだった音楽を勉強する道に進みました。ただ、ずっと心のどこかに民俗学に携わりたいという思いは持ち続けており、今年度からご縁あつて小泉八雲記念館で学芸員として働いています。

来年の秋には、セツがモデルとなるNHKの朝ドラが決定しました。放送決定後、観光客はもちろんですが、特に地元の人々の関心が高くなっていると感じています。この機会に、幅広い年代の人に気軽に小泉八雲記念館・旧居にお越しいただき、八雲の作品をはじめ、その考え方や大切にしていたことに触れていただきたいと思います。

現在、小泉八雲記念館で開催している「小泉セツ」の企画展では、こどもにわかりやすく、大人も展示に親しんでもらえるように、パンフレット作成を担当しました。クイズなどをまじえて小泉セツのエピソードをまとめ、より展示内容に関心をもってもらえるように工夫しました。

また、八雲の作品を知ること、松江に伝わる怪談や行事、習慣に興味を持ってもらい、松江をより面白く感じるきっかけになればと思っています。

私は、八雲の作品の中でも、彼が日本の怪談から感じとったメッセージや、怪談を通して伝えたかったものが、透けて見



〈資料の整理をする門脇さん〉

【問い合わせ】 文化振興課 ☎ 55-5517

八雲を知り、わかりやすく伝える

松江の皆さん こんにちは。



国際交流員

ジュール・クスモン



ボンジュール！

松江の皆さん、はじめまして！

ムツとする夏のパリの暑さとオリンピックの賑やかさから脱走し、8月から松江にきました新しい国際交流員のジュール・クスモンです。「ボンジュールのジュール」で覚えてください！

パリに2年半住んでいましたが、私の地元はフランスの中心部にある「プロワ」という街です。松江に来てまだ数カ月しか経っていませんが、地元との共通点が多いことに気がつきました。一つ目は、『プロワ』も県庁所在地であり、雄大なロワール川（フランス最長の川）が流れる自然豊かな地方都市であることです。二つ目は、TGV（フランスの新幹線）がないため、地元の人々は「車がない

いともできない」とよく言います（笑）。三つ目は、世界に誇れる長い歴史を持つお城があることです。

松江の茂っている木々や草むらに魅了されています。特に夕日の光が反射している宍道湖の景色を初めて見た時とても感動しました。そのため、私たちフランス人がよく言う「人間的な規模の街」（穏やかで住みやすい街）にきていると日々実感しています。

私はこれから日本に来るフランス人に、松江の魅力をアピールしていきたいと思っています。そして、松江の皆さんがもしフランスに行く機会があれば、パリとモン・サンミッシェルだけではなく、プロワのように



〈松江のように自然が豊かなプロワ市〉

な「人間的な規模の街」の雰囲気も経験してください！

フランスの穴場や観光スポットについて興味があれば、ぜひ声をかけてください。また、皆さんから松江の魅力がたくさん教えていただけると嬉しいです！

まちをよくする マイレポート

子どもと絵本が出合うとき

しまね子どもの読書等推進の会松江支部

代表 長澤 初美

「しまね子どもの読書等推進の会松江支部」は、平成13年6月に発足し、令和元年4月から市立中央図書館の「子どもの読書応援ボランティア」として活動しています。

会員は現在10人で、日頃はそれぞれの立場で子どもと本をつなぐ活動をしています。日々成長することにもたけ、より良い本を手渡すことができるように、毎月1回おすすめの絵本や児童書を持ち寄り、情報交換をして、学びを深めています。

今年5月から市立中央図書館のおはなし会「えーほんよんで〜おはなしの時間〜」で絵本の読み聞かせをしています。「えーほんよんで」は、3歳くらいから小学生までの子どもたちとその保護者を対象にしたおはなし会です。物語、昔話、知識・科学系、ことば遊びなど幅広いジャンルの絵本を組み合わせて、手遊びも取り入れて、年齢や好みもさまざまなおもたが楽しめるよう工夫しています。

こどもたちの前に座って「こんにちは」と声をかけ絵本を読み始めると、はじめの緊張感は薄れ、いっしょに本の世界を旅している気持ちになります。こどもたちは



〈えーほんよんで〜おはなしの時間〜〉

本の中にひきこまれ、豊かな表情を見せてくれます。

これからも、こどもと絵本が出合う瞬間に立ち会えることに感謝して、絵本の読み聞かせを楽しみたいと思います。

絵本や児童書のことをもっと知りたい人、読み聞かせに興味のある人は、私たちといっしょに活動しませんか。メンバー募集中です。お問い合わせは、市立中央図書館（☎27・3220）まで。